

2023年度 塾長賞・塾長奨励賞

塾長賞・塾長奨励賞は、学術・芸術・社会活動・文化活動などの各分野において、学生の範となる活躍をした塾生を表彰するものです。

2023年度は、塾長賞に2件2名が、塾長奨励賞に2件2名が選ばれ、3月に三田キャンパスにおいて表彰されました。

塾長賞・塾長奨励賞について

塾長賞審査委員会委員長 学生総合センター長・法学部教授

田上雅徳
たのうえまさなる

塾長賞・塾長奨励賞は、学術・芸術・社会活動・文化活動など、正課以外の幅広い分野において、めざましい業績を挙げた塾生を表彰するものです。表彰の基準は、その業績が「慶應義塾の存在自体の光輝となるもの」かどうかという点につきます。

2023年度は10件が推薦され、慎重な選考の結果、2件2名が塾長賞、2件2名が塾長奨励賞の栄誉に輝きました。坂野英恵君（文学部4年）は、第59回全日本女子学生本因坊決定戦に出場し、優勝の成績を収めました。本大会は、囲碁における学生女子日本一を決める権威あるものであり、その顕著な実績は慶應義塾の誇りとするところです。八木大輔君（文学部2年）は、第14回リヨン国際ピアノコンクールに出場し、第1位の成績を収めました。国際的に権威あるコンクールであり、他の出場者は、音大生や世界的に活躍しているピアニストなどが大半を占める中、第1位という素晴らしい業績を収めました。その顕著な実績は慶應義塾の誇りとするところです。石鍋有咲君（法学部3年）と村上愛優加君（法学部3年）は、共に第73回全日本学生法律討論会に出場し、石鍋君は立論の部第1位および質問の部第3位、村上君は質問の部第1位の成績をそれぞれ収めました。両者の業績は共に、持ち前の法的素養と法律討論会に向けた、たゆまぬ研鑽の賜物であり、慶應義塾の誇りとするところです。いずれの業績も個性にあふれ、卓越しており、先に示した表彰基準を十分に満たすものです。

塾生諸君には、大学生活、またその後の人生をより豊かなものとするべく、今回の受賞者に続いて、学業以外の分野においても自己を磨き、さまざまな領域で「光輝」を放つ存在となることを期待しています。

塾長賞

第59回全日本女子学生本因坊決定戦 優勝

文学部4年 **坂野英恵** 君 さかの はなえ

第59回全日本女子学生本因坊決定戦に出場し、優勝の成績を収め、高く評価されました。

囲碁における学生女子日本一を決める権威ある大会であり、その顕著な実績は慶應義塾の誇りとするところで。

「このような大変名誉ある賞をいただくことができとても光栄です。推薦してくださった囲碁部会長の伏見岳志教授をはじめ、応援してくださった家族、友人に心より感謝申し上げます」



第14回リヨン国際ピアノコンクール 第1位

文学部2年 **八木大輔** 君 やぎ だいすけ

第14回リヨン国際ピアノコンクールに出場し、第1位の成績を収め、高く評価されました。国際的に権威ある大会であり、その顕著な実績は慶應義塾の誇りとするところで。

「日々楽しみながら努力している活動がこのような形で認められ、大変うれしく光栄です。この賞をきっかけに自分の音楽がさらに多くの人に届いて楽しんでいただけならなと願います」



塾長 奨励賞

第73回全日本学生法律討論会 立論の部1位、質問の部3位

法学部3年 いしなべありさ
石鍋有咲君



第73回全日本学生法律討論会に出場し、立論の部第1位および質問の部第3位の成績を収め、高く評価されました。成しえた業績は同君のたゆまぬ研鑽の賜物であり、慶應義塾の誇りとするところでです。

「1年生の頃から多くの同志や先輩方に助けられながら法律討論に取り組んできました。周りの方々の支えがあったからこそ成長できたことを心に刻み、精進してまいります」

第73回全日本学生法律討論会 質問の部1位

法学部3年 むらかみあゆか
村上愛優加君



第73回全日本学生法律討論会に出場し、質問の部第1位の成績を収め、高く評価されました。成しえた業績は同君のたゆまぬ研鑽の賜物であり、慶應義塾の誇りとするところでです。

「貴重な賞を頂けて大変光栄です。大会で優勝できたのは先生方や仲間のお陰だと強く感じています。結果に満足せず、法の勉強を続け、立派な法曹になれるよう邁進いたします」

※学年はいずれも受賞時